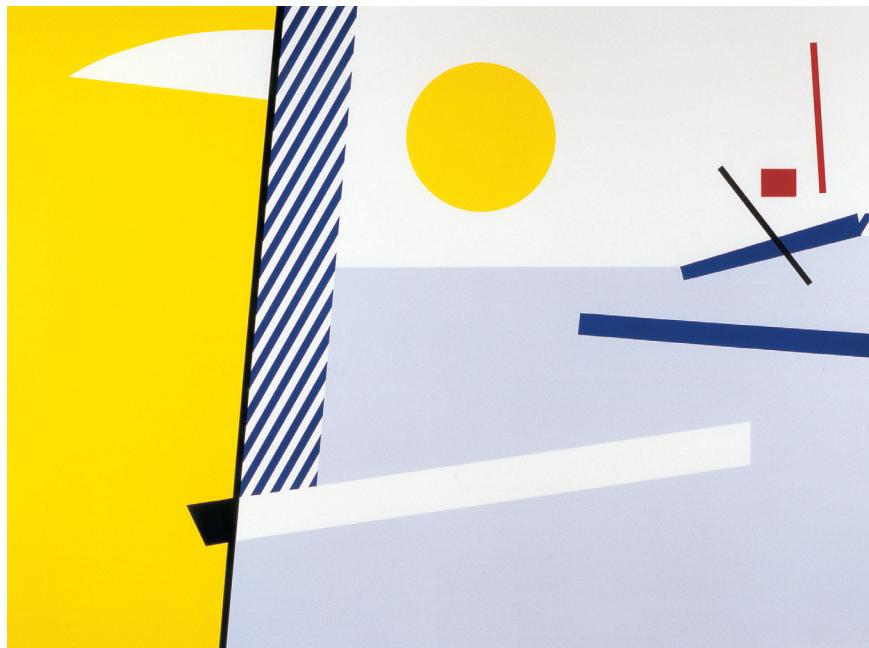




ミスミグループ通信

vol.50 2018年4月1日～2018年9月30日

証券コード：9962



© 2018 Estate of Roy Lichtenstein, N.Y. & JASPAR, Tokyo E3189

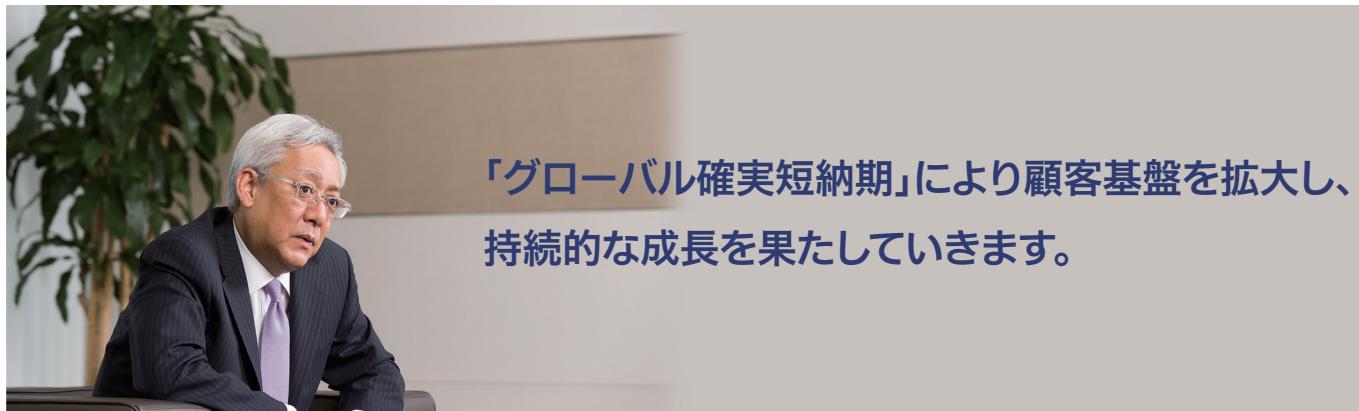
MISUMI Art Collection

ロイ・リキテンスタイン

『雄牛の頭Ⅲ』

解説は裏表紙をご覧ください。

トップメッセージ



「グローバル確実短納期」により顧客基盤を拡大し、
持続的な成長を果たしていきます。

代表取締役社長 CEO

大野 龍隆

成長投資の前倒しにより減益も、過去最高の上期売上高を達成

2019年3月期第2四半期累計期間(以下、2018年度上期)の世界経済は、貿易摩擦などへの懸念から製造業の設備投資に慎重さが見られるなど、アメリカを除く各地域で景気が減速傾向となりました。中国では輸出入の伸びが鈍化し始め、アジアや欧州でも製造業の景況は減速しつつあります。また、日本の製造業も原材料高騰などの影響で景況が弱含みとなり、足元では米中貿易摩擦への懸念により、工作機械や自動車関連分野で不透明感が増しています。

ミスミグループではこうした経営環境においても、メーカー事業と流通事業、およびITなどの事業基盤をグ

ローバルに拡充することで、生産材プラットフォームへの業態変革を加速しています。今期においても、最適調達を目的とした現地生産を推進するとともに、国内外で物流拠点を拡張するなど、「グローバル確実短納期」体制の強化を図っています。また、各国の現地ニーズに即時対応できる地域別ECサイトの構築も計画を上回るスピードで進めました。これらの施策は、顧客に対して高い利便性を提供する原動力となっており、国内および海外市場において、昨年上期を上回るペースでの顧客数拡大となって表れています。

その結果、連結売上高は1,666億円、前年同期比9.3%の増収となり、半期決算としては7期連続で過去最高を更新しました。利益面につきましては、業態変革に不可欠なIT基盤投資、人員・組織の増強などを実行したことなどにより、営業利益は158億円(前年同期比15.9%減)、対計画では19.7%減となりました。経常利益は159億円(前年同期比14.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は115億円(前年同期比11.2%減)となり、過去最高額であった前年同期に比べ減益となりました。これらの業績数値は、世界で急速に進む製造業のデジタル化への対応と、先にも述べましたさらなる成長への投資を前倒しで実行した結果であるにとらえています。

業態変革への「攻め」の経営は継続

私たちにとって重要な市場である中国では現在、米中貿易摩擦が長期化する懸念が高まっていますが、製造業の自動化需要は中期的には堅調であると認識しています。一方で、中国経済の減速リスクを踏まえ、生産体制の中国集中・中国依存の現状を見直すという顧客企業が増加しています。つまり、中国以外での生産拠点拡充やさらなるコスト削減が再び、グローバル製造業のテーマになってきています。このような現況は当社グループの経営においても、難しい判断を迫られる局面などがあり、慎重さを加味する必要はあります。しかしながら、従来から取り組んできた業態変革への「攻め」の経営は継続してまいります。そして「グローバル確実短納期」を軸に、さらなる成長を志向していきます。

2018年度通期の連結業績見通しについては、ここまで述べてきました製造業の景況減速などを踏まえて、若干の修正をいたしました。売上高については3,430億円、対前年で9.6%の成長を計画しています。期初の計画に対しては、5%の下方修正となります。営業利益は対前年度とほぼ同額、期初の計画に対しては11.8%の下方修正となる350億円としました。持続的な成長への打ち手を継続しながら、増益基調は維持していきます。

業績 (単位: 億円)

	2017年度		2018年度	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期 (予想)
売上高	1,524.6	3,129.6	1,666.6	3,430.0
営業利益	189.0	348.4	158.9	350.0
経常利益	186.2	346.7	159.7	352.0
親会社株主に 帰属する 当期純利益	130.4	256.0	115.7	257.0

トップメッセージ

「不況にも強い」と評価されるミスミモデルを確立していく

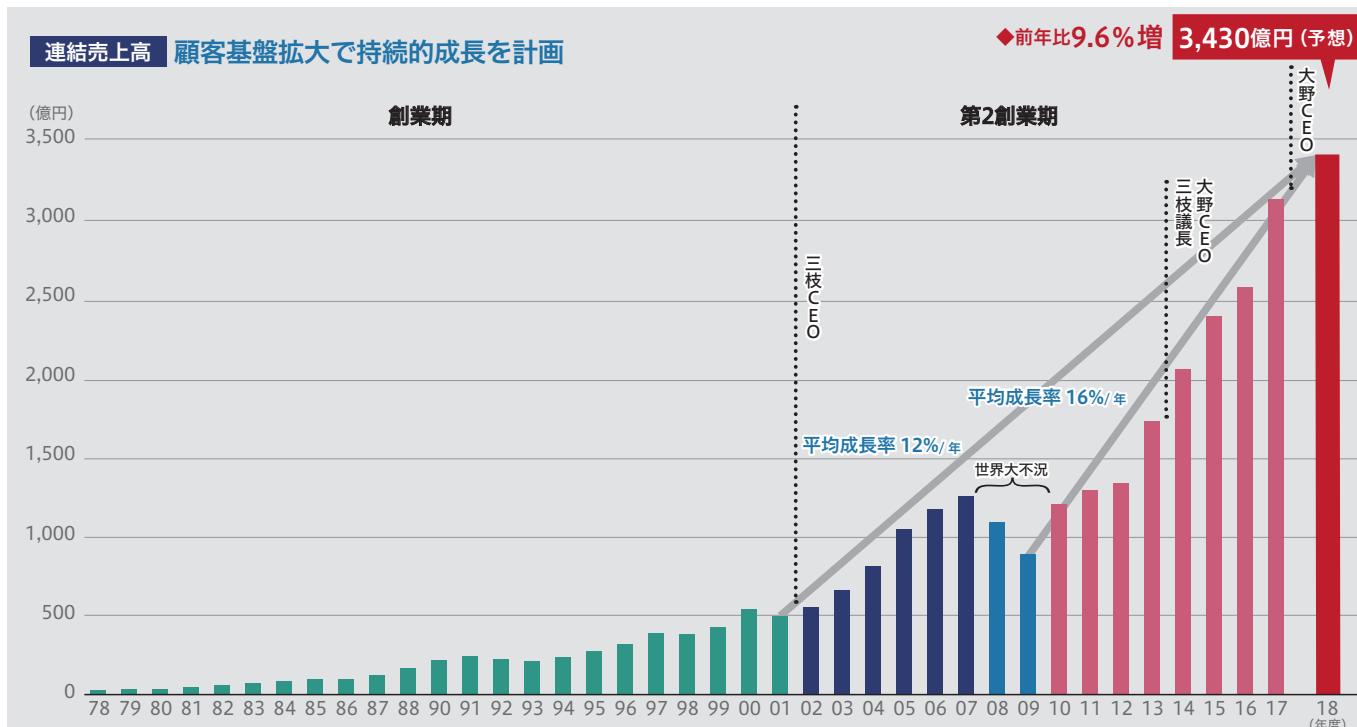
続いて、上期の主な取り組みの進捗と、今後の事業展開について説明いたします。

F A事業は、期初の売上目標に対し、欧州を除くすべての地域でやや弱含みで推移しており、現在、スマートフォンや自動車分野の需要減および貿易摩擦の影響を見極めながら、グローバルでの確実短納期体制を支える供給力の強化・見直しを実施しています。日本とアジア、

米州、および欧州に展開する生産拠点の増築・増床については、ほぼ計画どおりに進捗させる一方、中国の南通工場は増床の計画を見直し、原価低減への取り組みを優先させています。

製造業のデジタルモデルシフトを踏まえた戦略としては今上期、設計支援ツール「Rapid Design」の本格展開を開始しました。まず日本と中国市場でスタートし、

■ミスミグループの業績推移



利用者数は順調に増加しています。下期からは、本ツールを韓国と米州、欧州にも展開していきます。

VONA^{※1}事業では、各国での取扱商品の総数を、この1年間で2,460万点から2,840万点へと拡大させ、製造業向け流通事業者の中では世界最大規模を維持しています。今年度はマレーシアでも本事業を開始し、2019年度にはインドでの本格展開を予定しています。販売地域を確実に拡大させながら、「确实短納期」、他社商品の「追加加工・組立加工」、および「PB（プライベートブランド）商品」の投入で、徹底した差別化を図っていきます。

IT基盤については、地域別の顧客ニーズに最適化した新たなECサイトの展開を前倒しで実行しています。あわせて、世界最大の生産材データベースの構築も着実に進捗しています。「确实短納期」の信頼性強化を目的に、基幹システムのクラウド化も企図しています。

昨年度からは、PC環境のない製造現場で働く方々の業務効率化を支援するために、ミスミのモバイルアプリケーションを提供する取り組みを開始しています。先行投入した中国では、この1年間でダウンロード数が9.1倍、アプリ経由の売上高は12倍にもものぼっています。今年度中には韓国、タイ、ベトナム市場への提供を開始します。

このような事業展開を踏まえた投資計画は、今年度上期においてほぼ計画どおりに進捗しています。当社グループが計画している2018年度通期の連結売上高3,430

億円を達成すれば、世界経済が同時不況となった2009年からの年平均成長率は16%となります。私は今後仮に景気が悪化しても、「不況に強い」と評価されるようなミスミモデルを実証していきたいと考えています。そのために「グローバル确实短納期」による顧客基盤の拡大、およびモデルを進化させる攻めの投資で、持続的な成長を果たしていきます。

1株当たり配当金^{※2}（単位：円）

配当金につきましては、配当性向25%を基準に決定しております。今中間配当金は1株当たり10円21銭と前年同期比1円31銭の減配となりますものの、通年では22.67円、前年比0.07円の増配を見込んでいます。

2018年度 第2四半期末 1株につき **10.21**円

2018年度 通期（予想） 1株につき **22.67**円
（中間10.21円＋期末12.46円）



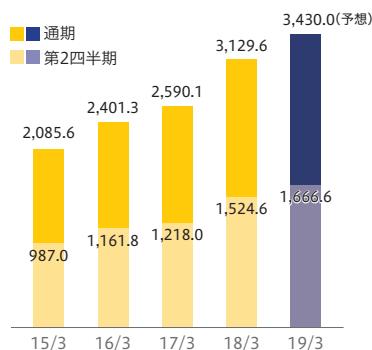
※1 VONA：Variation & One-stop by New Alliance
ミスミブランド以外の他社商品も含めた生産設備関連部品、製造副資材やMRO（消耗品）などを販売する事業

※2 2015年7月1日付の株式分割調整後

財務ハイライト

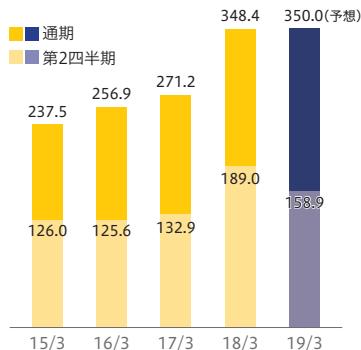
売上高 (単位：億円)

1,666.6 億円
前年同期比 9.3% 増



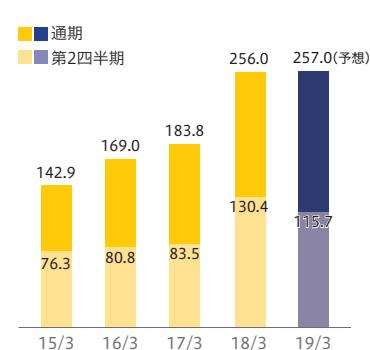
営業利益 (単位：億円)

158.9 億円
前年同期比 15.9% 減



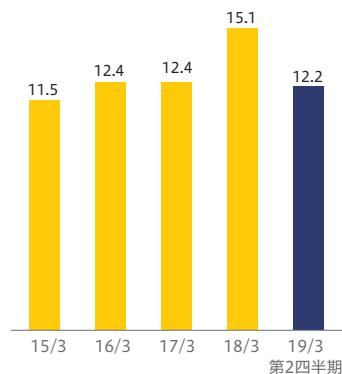
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (単位：億円)

115.7 億円
前年同期比 11.2% 減



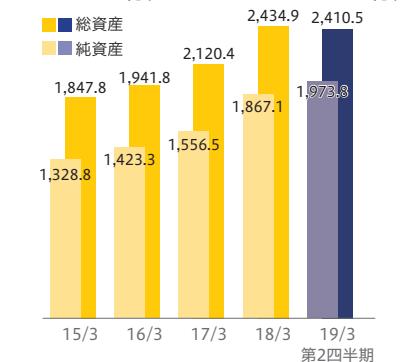
ROE (単位：%)

12.2%



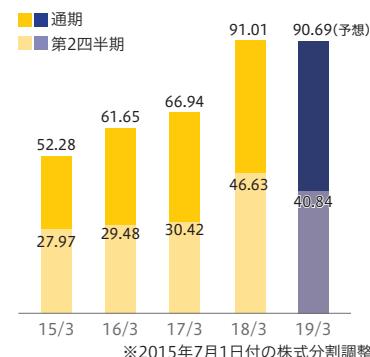
総資産・純資産 (単位：億円)

総資産 **2,410.5** 億円
純資産 **1,973.8** 億円



一株当たり 四半期(当期)純利益 (単位：円)

40.84 円



※2015年7月1日付の株式分割調整後

詳しい情報は、ミスミグループのIRページへ

ミスミIR

検索



セグメント概況

FA 事業



生産現場で使用する自動機、精密生産装置などに利用する精密機械部品の開発・提供をしています。

売上高

前第2四半期 517.3 億円 → 当第2四半期 560.6 億円

営業利益

前第2四半期 105.3 億円 → 当第2四半期 97.9 億円

売上高比率

33.6%

金型部品事業



主に自動車、電子・電機機器分野で加工に必要となるプレス金型またはモールド金型に組み込む標準部品や精密部品の開発・提供をしています。

売上高

前第2四半期 386.9 億円 → 当第2四半期 384.9 億円

営業利益

前第2四半期 27.6 億円 → 当第2四半期 32.3 億円

売上高比率

23.1%

VONA 事業



工具や手袋など生産現場で使用する製造副資材や消耗品まで幅広い商品ラインナップを提供。ミスミブランド以外のメーカー品も取り揃えた流通事業です。

売上高

前第2四半期 620.4 億円 → 当第2四半期 721.0 億円

営業利益

前第2四半期 58.2 億円 → 当第2四半期 31.1 億円

売上高比率

43.3%

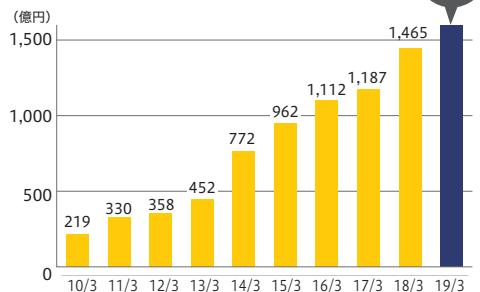
地域ごとの状況

2019年3月期
第2四半期
海外売上高比率

48.7%

	前第2四半期	当第2四半期
中国・アジア	498.1 億円 →	563.4 億円
アメリカ	133.1 億円 →	134.9 億円
ヨーロッパ	75.0 億円 →	86.3 億円
その他	25.4 億円 →	27.3 億円
日本	792.8 億円 →	854.6 億円

海外売上高



連結財務諸表（要約）

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2018.9.30現在	前期 2018.3.31現在
資産の部		
流動資産	172,104	179,904
現金及び預金	54,139	65,502
受取手形及び売掛金	66,589	67,817
その他	51,375	46,584
固定資産	68,952	63,587
資産合計	241,056	243,492
負債の部		
流動負債	36,254	49,684
固定負債	7,421	7,087
負債合計	43,676	56,772
純資産の部		
株主資本	192,506	183,994
その他の包括利益累計額	3,096	1,208
新株予約権	1,216	986
非支配株主持分	561	529
純資産合計	197,380	186,719
負債純資産合計	241,056	243,492

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2018.4.1～2018.9.30	前第2四半期 2017.4.1～2017.9.30
売上高	166,668	152,465
営業利益	15,896	18,902
経常利益	15,970	18,627
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	11,573	13,040

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2018.4.1～2018.9.30	前第2四半期 2017.4.1～2017.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,306	7,621
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,815	1,264
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,106	△2,487
現金及び現金同等物に係る換算差額	445	799
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,169	7,197
現金及び現金同等物の期首残高	51,713	47,840
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,544	55,038

新 ECサイトのグローバル展開

ミスミグループでは、各国ごとに異なる顧客ニーズに対応するため、従来のECサイトを刷新しています。この上期までに中国、米国、10月には韓国も新ECサイトに移行しました。引き続き欧州など他地域への拡大も計画しています。

新ECサイトでは商品の検索スピードが飛躍的に向上するとともに、各国ごとのお客様にとって使い慣れたデザインのサイトを提供することによって利便性を向上させています。

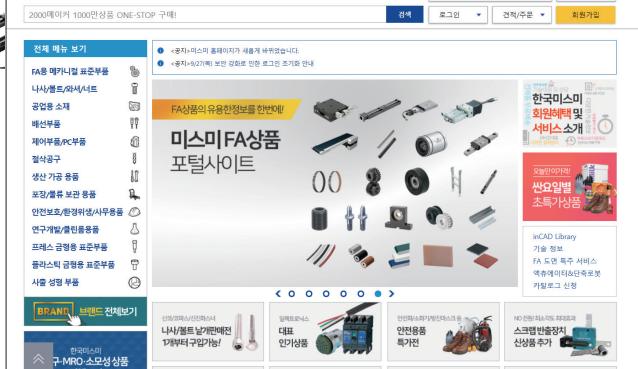
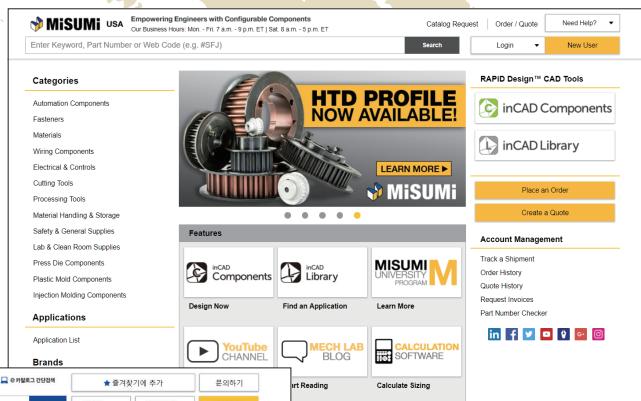


▲中国

また、各国でサイトに新しい機能を追加する際も、これまで比べて短い期間で開発することができ、お客様のご要望に即時に対応することが可能になりました。

当社の海外顧客数比率は60%以上にまで拡大しています。こうした各国のお客様ニーズに合わせたECサイトを構築することにより、顧客基盤の拡大を着実に進めていきます。

▼米国



▼韓国

会社情報

■会社概要 (2018年9月30日現在)

商号	株式会社ミスミグループ本社 (英文名: MISUMI Group Inc.)
設立	1963年2月23日
本社	東京都文京区後楽二丁目5番1号 飯田橋ファーストビル
資本金	128億1千2百万円
事業内容	グループの経営戦略立案や管理ならびにそれらに付随する グループ経営に必要な機能を有する
従業員数	12,165名 (ミスミグループ連結)
URL	https://www.misumi.co.jp/



■ミスミグループトップマネジメント (2018年12月1日現在)

取締役	代表取締役社長 CEO	大野 龍隆	シニアチェアマン	三枝 匡
	取締役副社長	池口 徳也		
	常務取締役 CFO	男澤 一郎		
	常務取締役 CIO	佐藤 年成		
	取締役 (社外)	小城 武彦		
	取締役 (社外)	西本 甲介		

経営	ミスミグループ本社	企業体・サービスプラットフォーム		
執行役	代表取締役社長 CEO	大野 龍隆	中国企業体 代表執行役員 企業体社長	金谷 知樹
	取締役副社長	池口 徳也	アジア企業体 代表執行役員 企業体社長	清水 重貴
	常務取締役 CFO	男澤 一郎	欧州企業体 代表執行役員 企業体社長	佐々木 貴子
	常務取締役 CIO	佐藤 年成	FA企業体 代表執行役員 企業体社長	中川 理恵
	常務執行役員	和田 高明	VONA企業体 VONAエレクトロニクスG事業本部 代表執行役員 グローバル事業本部長	中村 茂仁
	常務執行役員	丸井 武	VONA企業体 VONAメカニカルG事業本部 代表執行役員 グローバル事業本部長	高阪 貴夫
	常務執行役員	恒松 孝一	VONA企業体 VONAツールサプライG事業本部 代表執行役員 グローバル事業本部長	加藤 匡一
	グループ統括執行役員	有賀 誠	3D2M企業体 代表執行役員 企業体社長	吉田 光伸
	グループ統括執行役員	萩平 和巳	物流サービスプラットフォーム 代表執行役員	岡本 道明
	グループ統括執行役員	白石 裕	生産サービスプラットフォーム 代表執行役員	遠矢 工

監査役	監査役	宮本 博史	創業者	シニアチェアマン 第2期創業者	三枝 匡
	監査役 (社外)	野末 寿一		特別顧問・創業者	田口 弘
	監査役 (社外)	青野 奈々子			

株式の状況 (2018年9月30日現在)

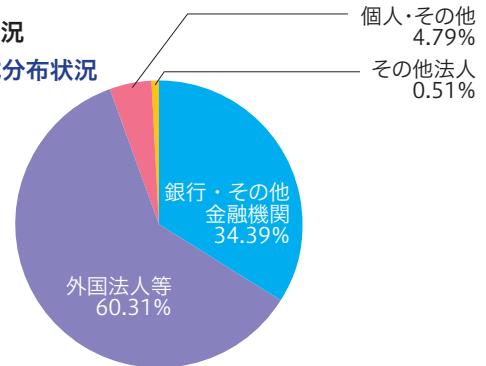
- 発行可能株式総数 **1,020,000,000株**
- 発行済株式総数 **283,524,157株**
- 株主数 **6,439名**
- 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	44,878	15.83%
日本スタートラスト信託銀行株式会社	24,575	8.67%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 常任代理人 香港上海銀行東京支店	13,359	4.71%
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	10,678	3.77%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	6,027	2.13%
RBC IST 15 PCT LENDING ACCOUNT 常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店	6,013	2.12%
BBH FOR MATTHEWS ASIA DIVIDEND FUND 常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行	5,869	2.07%
THE BANK OF NEWYORK MELLON 140044 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	5,779	2.04%
田口 弘	5,530	1.95%
GIC PRIVATE LIMITED 常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行	4,678	1.65%

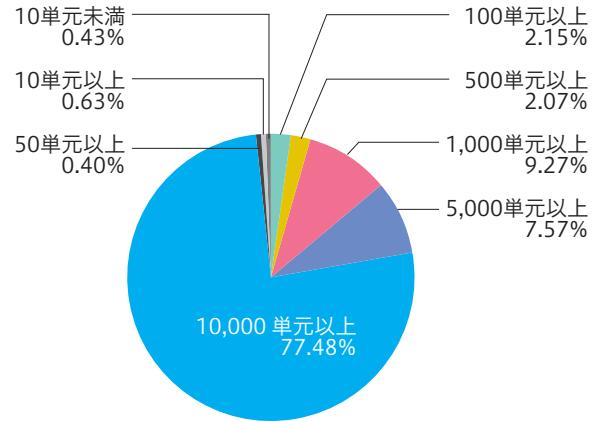
(注) 持株比率は小数点以下第3位を四捨五入しております。

株式の分布状況

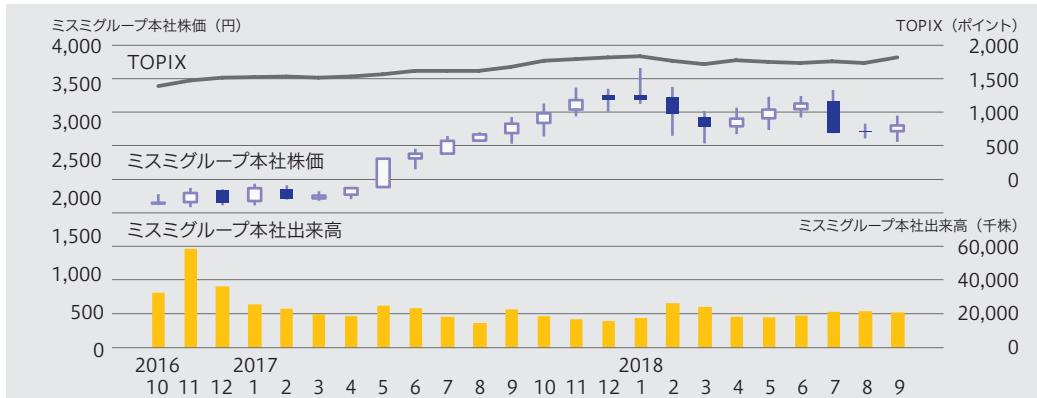
所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況 (1単元の株式数100株)



株価の推移



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料、平日9:00 -17:00)
(同送付先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない 事故その他やむを得ない事由が生じた場合 は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	https://www.misumi.co.jp/ir/

注意事項

業績予想に関する留意事項

この資料に掲載されている通期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、現時点で入手可能な情報をもとに、ミスミグループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は、さまざまな要素により、これら事業予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

住所変更、買取請求その他各種お手続きについて

原則、株主様の口座のある証券会社にお問い合わせください。
なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

MISUMI Art Collection

Roy Lichtenstein [Bull Head III]

ロイ・リキテンスタイン『雄牛の頭 III』、1973年

ロイ・リキテンスタインは、ポップアートの代表的アーティスト。ポピュラー・カルチャーであるコミックをアートへと昇華させた。そんな彼も1961年ニューヨーク、リオ・カステリ画廊の初個展では、ライフ誌に「史上最悪のアメリカ人アーティストだ」と酷評を受けたこともある。リキテンスタインは「ピカソの『雄牛』をモチーフにした」と自ら語り『雄牛の頭Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ』の3作品を1973年に制作。数字が増えるにつれて抽象度が進んでいく。『雄牛の頭Ⅲ』では図形のような角と目しか判別できない。しかし、そのことが逆に見る側の想像力を働かせ、牛の存在について考えることになってしまう。酷評を受けたことが結果的には彼の存在感や作品価値を押し上げたように。



株式会社 ミスミグループ本社

〒112-8583 東京都文京区後楽二丁目5番1号 飯田橋ファーストビル

TEL : (03)5805-7037 FAX : (03)5805-7014

URL : <https://www.misumi.co.jp/>

